

参考様式1

## 農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
しらいちちょう 白老町	令和2年度から令和4年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林水産課	0144-82-6491	0144-82-4391	nousei@town.shiraoi.lg.jp

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること。
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	<p>平成29年に梨湖フーズ(株)より白老町内で6次産業化を見据えたブランド牛「白老牛」を生産できる農地を探しているという相談を受けたことから、本町の課題解決(交流人口の増加)につながる事業であると考え森野地区の農地を紹介し、令和元年11月に(株)徳寿ファームとして新規就農を開始し、令和3年7月から毎月15頭の「白老牛」出荷を目指している。また今後「地産地消レストラン」の整備や乳牛の導入、果実の栽培も計画している。</p> <p>白老町としては来年度開設する国立アイヌ民族博物館から通年開通する道道白老大滝線を経由した後志圏(ニセコ方面)への観光ルートに面する当地区を活性化するため、今回の(株)徳寿ファーム(本事業実施主体)の取組みを核として地域連携販売力強化施設で「地域ブランドを活用した商品開発」として年間1つずつの商品開発・「交流人口の増加」についてはR6.6までの3年間平均で施設の入込者数78,780人を目指す。このため今回計画する施設は白老町の再生・活性化を図るためには必要な施設である。</p>

## II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
	交流人口の増加	
第1評価指標の設定根拠 目標値の設定根拠: R3来客予定数54,880人+R4来客予定数82,510人+R5来客予定数82,510人+R6来客予定数16,440人÷3年=目標値78,780人 ※株式会社徳寿ファーム事業計画参照		
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
第2評価指標の設定根拠		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
	商品開発数	
第3評価指標の設定根拠 地域産物を使った商品を毎年一品開発		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和3年7月～令和6年6月	令和6年	

### 【記入要領】

- 全般 ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- 事業活用活性化計画目標 ・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- 評価指標 ・評価指標の記載に当たっては実施要領及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

### Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域連携販売強化施設	白老町	地産地消レストラン	地産地消レストラン (681.119㎡)	R2	株式会社徳寿 ファーム	356,426	108,534	1/2	108,534	地産地消レストランを整備することにより、白老町の観光入込者数を増加させ、地域の活性化を図る	
合 計						356,426	108,534		108,534		

#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
- ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
- ・「農泊推進対策」で実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。

(※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。









